

平成30年度文教大学高大連携（教員間交流プログラム）「キャリア教育」夏季研究会  
（神奈川県立総合教育センター研修認定講座のご案内）

<b>講座名</b>	平成30年度 文教大学高大連携（教員間交流プログラム）【午前開催】 「チーム学校（教科横断型）として取り組み『学修力』（主体的・対話的で深い学びを踏まえた）の向上を目指すキャリア教育の在り方」研修講座		
<b>期 日</b>	平成30年8月22日（水）9：30～12：30		
<b>内 容</b>	<p>《研修テーマ》 教科横断型の視点に立った「主体的・対話的で深い学び」と「キャリア教育」の在り方 【実践事例を含めた講演会】 「主体的・対話的で深い学びによる具体的な授業でのキャリア教育的な指導方略」（仮） 静岡県立浜松北高等学校 教諭 大村勝久</p> <p>【討論会】 テーマ『教科横断型の視点に立った「主体的・対話的で深い学び」と「キャリア教育」の在り方』（仮）</p> <p>話題提供者：キャリアガイダンス 編集顧問 角田浩子 静岡県立浜松北高等学校 教諭 大村勝久 神奈川県立茅ヶ崎西浜高等学校 教諭 鎌田高德 神奈川県立藤沢清流高等学校 総括教諭 小島昭彦 進行：文教大学経営学部 教授 新井立夫</p>		
<b>目 的</b>	<p>本会が意味する主体的・対話的で深い学びとは、「思考を活性化する」学修形態を指します。教育者として、生徒の学修に対する関心や意欲を向上させ、自ら課題を設定して解決する力を育成するために、授業内容や授業方法を改善していく必要があるといえます。そのうえで、キャリア教育的視点に基づいた教育開発（Educational Development）の実践的な方法として、チーム学校（教科横断型）としての拡張学修の方法を学びます。</p>	<b>定 員</b>	250（100）
<b>対 象</b>	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭、教諭、養護教諭、実習助手	<b>会 場</b>	文教大学 湘南キャンパス 1101教室
<b>連携講座</b>	<p>【神奈川県立総合教育センター連携講座】 文教大学高大連携運営委員会が主催する講座です。 ※基本研修の選択研修講座として受講する場合は、「神奈川県立総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してお申込みください。 <a href="http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/30kouzaannnai/kensyuu/390010.html">http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/30kouzaannnai/kensyuu/390010.html</a></p>	<b>研修時間</b>	9:30～12:30
		<b>受講決定</b>	先着順決定型
		<b>申込締切</b>	8月20日（月）
<b>問合せ先</b>	<p>高大連携運営委員会委員長 新井立夫 TEL(090)8473-0653 E-mail tatsuo@shonan.bunkyo.ac.jp 文教大学湘南校舎総務課高大連携担当 E-mail kdr-staff@shonan.bunkyo.ac.jp ※本学ホームページからお申し込みをお願いいたします。 【案内文・参加申込】 <a href="http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/renkei/kyariakyouiku/">http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/renkei/kyariakyouiku/</a></p>	<b>備 考</b>	当日参加も可能ですので、お気軽にご参加くださいますようお願いいたします。

【ファカルティ・ディベロップメント】（FD：Faculty Development）

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催等を挙げることができる。

【アクティブ・ラーニング】（AL：Active Learning）

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。